

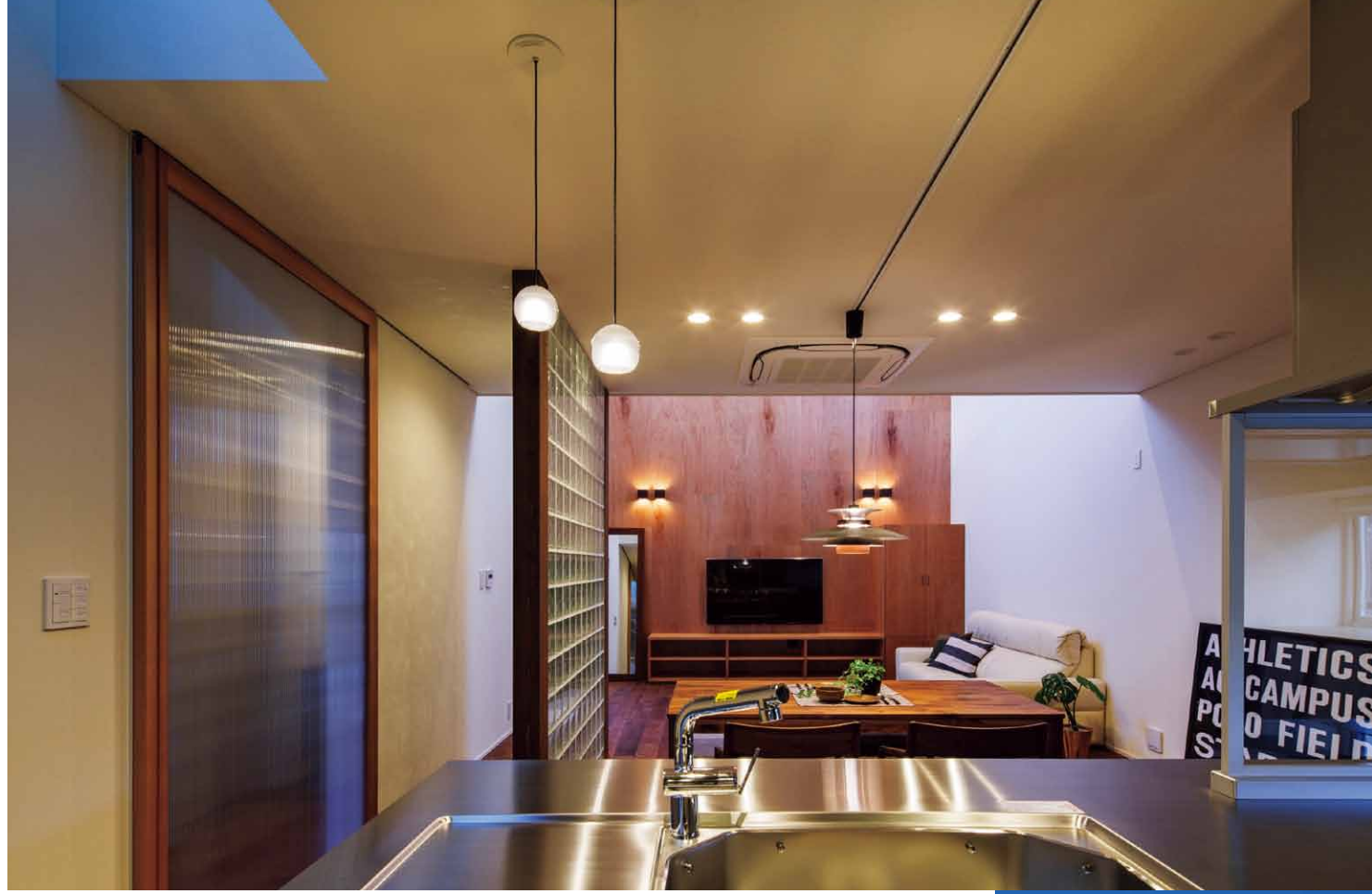
田辺市 S 邸

個性的な意匠の外観デザインと暮らしやすい屋内レイアウト

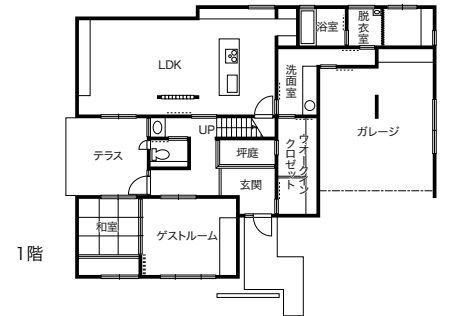
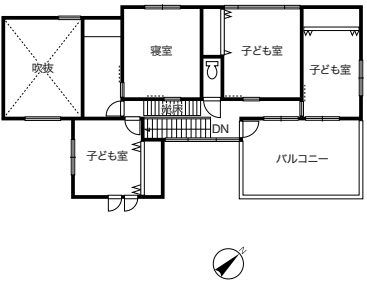
text_ 吉野 瑞穂 photo_ 今西 浩文



右 / ガレージから屋内へのつながりが機能的に考えられたアプローチ。2階の窓から入る自然光は2階のガラス床を介してキッチンまで届く。
左 / ガラスに囲われたサボテンのある坪庭を設け、トップライトからの光でさわやかなエントランスを実現。



開口のないキッチンエリアには構造の柱にキューブガラスをはめたパーテーションや2階のガラス床などから光を取り込む工夫を。



Tanabe House S

●所在地 / 田辺市 ●家族構成 / 夫婦 + 子ども 3人 ●敷地面積 / 270.00㎡ (81.67坪) ●延床面積 / 236.32㎡ (71.48坪) 1階 154.84㎡ (46.83坪) 2階 81.48㎡ (24.64坪) ●用途地域 / 無指定地域 ●建ぺい率 / 60% ●容積率 / 200% ●構造・工法 / 木造軸組工法 ●竣工 / 2015年11月 ●本体工事費 / 約50,000,000円 ●施工 / 有限会社タナカ工務店

中道 哲也 1963年御坊市生まれ。1989年設計事務所勤務後、中道建築設計事務所設立。1992年有限会社サンクリエーションを共同で設立。2004年デザインオフィス・スタジオパートスリー設立。2011年和歌山事務所設立。同年株式会社スタジオパートスリーに法人化。



ご連絡お待ちしております

和歌山県内を中心に建築設計活動をしています。慣習や既存概念にとらわれることなく、理想とするライフスタイルをイメージのままに実現できる間取りやデザインなど、個人のオリジナルなご要望にお応えするよう、精一杯やらせていただきます。まずはお気軽にお話をお聞かせください。ご連絡お待ちしております。

前回の本誌掲載の家を見て気に入ってくださった建て主。3人のお子さんにそれぞれの個室を用意したい、自家用車の駐車スペースが欲しい、仕事柄、商談のできるゲストルームが欲しい、といったさまざまな要望をまとめあげ、デザインと心地よさ、暮らしやすさが三位一体となった一邸をプランニングさせていただきました。まずこだわったのは外観デザイン。9つの面を多層に重ね、影や高低差、奥行き、隙間などでバランスをとった、存在感のあるファサードデザインに仕上げられています。また、外観の形状からは屋内の間取りの見当がつきにくいので、防犯の面からも安心です。光と風の取り入れ方もS邸のこだわりポイントのひとつです。単純に大きな開口を設けるのではなく、たとえばリビングやゲストルームはパティオを介し、壁に囲まれて開口を設けるのが難しいキッチンでは2階通路の一部をガラスフロアにして吹き抜け越しに採光しています。玄関には坪庭を作りトップライトを設けるなど、暗くならない場所も開口の位置とデザインを工夫することで、心地よく明るい空間になりました。間取りは来客時でも気兼ねなくスマートに動け、またスペースを無駄なく使えるようにこだわりました。玄関横のウォークインクローゼットは内玄関を兼ね、たとえばお子さんが帰宅時には洗面や浴室に直接行けるように配慮。ビルトインガレージからも洗面室からそのままキッチンに入れるような動線を実現しています。



9つの面で構成された外観デザイン。威風堂々とした造形美であると同時に、屋内の間取りが外からは推察されにくい防犯のメリットも。



パティオに面した開口や吹き抜けのハイサイド窓から心地いい光が降り注ぐ開放感あふれるリビングは家族団らんのメインスペース。